



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 6 年度

地域整備方向検討調査

笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

積 算 書

（当初）

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

[illegible]

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

[illegible]

九州農政局

九州農政局

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1 資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	399,800		歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2 現地踏査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	329,000		歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3 既存文献調査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	329,000		歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	4 生物調査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	663,000		歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	5 景観調査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	463,000		歩A・単A
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	6 環境配慮検討部会等資料の作成及びとりまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	465,800		歩A・単A
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	7 保全対象生物の設定及び環境配慮対策検討の補足					
	設計労務(直接人件費内業)		式	237,000		歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	8 環境配慮計画(案)の補足					
	設計労務(直接人件費内業)		式	422,300		歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	9 環境調査情報登録データのとりまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	219,700		歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	10 照査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	171,000		歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	11 点検とりまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	399,800		歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
S63007	A 現地踏査					
	設計労務(直接人件費外業)		式	190,800		歩A・単A
	*** S単 - 13号 ***					
S63007	B 生物調査_夏季鳥類					
	設計労務(直接人件費外業)		式	262,350		歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
S63007	C 生物調査_夏季 両生類・爬虫類・昆虫類・哺乳類					
	設計労務(直接人件費外業)		式	468,900		歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
S63007	D 景観調査_夏季					
	設計労務(直接人件費外業)		式	238,500		歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
S63007	E 生物調査_秋季 植物					
	設計労務(直接人件費外業)		式	646,040		歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
S63007	F 生物調査_秋季 哺乳類(コウモリ)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	208,400		歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
S63007	G 生物調査_冬季 鳥類					
	設計労務(直接人件費外業)		式	47,700		歩A・単A
	*** S単 - 19号 ***					
S63007	外業の移動に係る基準日額					
	設計労務(直接人件費外業)		式	694,200		歩A・単A
	*** S単 - 20号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額)					
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.88日		回	168,084		歩A・単A
	*** S単 - 21号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額)					
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.88日		回	143,796		歩A・単A
	*** S単 - 22号 ***					
S63011	打合せに係る旅費交通費					

九州農政局

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1 資料の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				399,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		399,800	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2 現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				329,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		329,000	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3 既存文献調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				329,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		329,000	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	4 生物調査		式		1,000	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)	6.000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員	6.000	人	33,600	201,600	
	合 計				663,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		663,000	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	5 景観調査		式		1,000	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	2.50人				
	6)技師 C の人数	4.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.500	人	47,200	118,000	
R04006	技師 (C)	4.000	人	38,400	153,600	
R04007	技術員	4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				463,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		463,000	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	6 環境配慮検討部会等資料の作成及びとりまとめ		式		1,000	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	2.00人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				465,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		465,800	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	7 保全対象生物の設定及び環境配慮対策検討の補足設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1.500	人	47,200	70,800	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				237,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		237,000	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	8 環境配慮計画(案)の補足設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				422,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		422,300	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63003	9 環境調査情報登録データのとりまとめ設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04004	技師 (A)					
		0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B)					
		1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				219,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		219,700	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	10照査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	3.000	人	57,000	171,000	
	合 計				171,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		171,000	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	11点検とりまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				399,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		399,800	
	*** S単 - 12号 ***					
S63007	A 現地踏査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				190,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		190,800	
	*** S単 - 13号 ***					
S63007	B 生物調査_夏季鳥類		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.75人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.75人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	2.750	人	57,000	156,750	
R04006	技師 (C) 外業	2.750	人	38,400	105,600	
	合 計				262,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		262,350	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63007	C 生物調査_夏季 両生類・爬虫類・昆虫類、哺乳類 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	4.50人				
	5)技師Bの人数	4.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	4.500	人	57,000	256,500	
R04005	技師 (B) 外業	4.500	人	47,200	212,400	
	合 計				468,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		468,900	
	*** S 単 - 15号 ***					
S63007	D 景観調査_夏季 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	2.500	人	57,000	142,500	
R04006	技師 (C) 外業	2.500	人	38,400	96,000	
	合 計				238,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		238,500	
	*** S 単 - 16号 ***					
S63007	E 生物調査_秋季 植物 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	6.20人				
	5)技師Bの人数	6.20人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	6.200	人	57,000	353,400	
R04005	技師 (B) 外業	6.200	人	47,200	292,640	
	合 計				646,040	算出数量 1.000 式
	単 価		式		646,040	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 17号 ***					
S63007	F 生物調査_秋季_哺乳類(コウモリ)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	2.00人				
	5)技師B的人数	2.00人				
	6)技師C的人数	0.00人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04004	技師(A)					
	外業	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)					
	外業	2.000	人	47,200	94,400	
	合 計				208,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		208,400	
	*** S 単 - 18号 ***					
S63007	G 生物調査_冬季_鳥類		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	0.50人				
	5)技師B的人数	0.00人				
	6)技師C的人数	0.50人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04004	技師(A)					
	外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04006	技師(C)					
	外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				47,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		47,700	
	*** S 単 - 19号 ***					
S63007	外業の移動に係る基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	7.00人				
	5)技師B的人数	3.00人				
	6)技師C的人数	4.00人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04004	技師(A)					
	外業	7.000	人	57,000	399,000	
R04005	技師(B)					
	外業	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師(C)					
	外業	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				694,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		694,200	
	*** S 単 - 20号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.88日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	日			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.880日				
R04003	主任技師					
		1.380	人	64,800	89,424	
R04004	技師(A)					
		1.380	人	57,000	78,660	
	合 計				168,084	算出数量 1.000 回
	単 価		回		168,084	
	*** S単 - 21号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.88日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.880日				
R04004	技師(A)					
		1.380	人	57,000	78,660	
R04005	技師(B)					
		1.380	人	47,200	65,136	
	合 計				143,796	算出数量 1.000 回
	単 価		回		143,796	
	*** S単 - 22号 ***					
S63011	打合せに係る旅費交通費		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,滞在して打合せ,乙地,なし,ライトバン,2日,3時間,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.88日				
	9)宿泊区分	滞在して打合せ				
	10)宿泊地	乙地				
	11)補正区分	なし				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	11,544円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	2日				
	19)時間区分	3時間				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	11,544	11,544	
M28121	ライトバン[ガソリン]二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				42,088	算出数量 1.000 回
	単 価		回		42,088	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 23号 ***					
S63011	打合せに係る旅費交通費		回		1,000	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	一般工程, 中間, 滞在して打合せ, 乙地, なし, ライトバン, 2日, 3時間,			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	100km L (100km以上)			豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
				基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
	1) 設計工程	一般工程				
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師 A 配置人員	1人				
	5) 技師 B 配置人員	1人				
	6) 技師 C 配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.88日				
	9) 宿泊区分	滞在して打合せ				
	10) 宿泊地	乙地				
	11) 補正区分	なし				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	11,544円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	2日				
	19) 時間区分	3時間				
	20) 往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当					
	消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1,000	式	11,544	11,544	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	16,200	L	162	2,624	
	合 計				39,906	算出数量 1,000 回
	単 価		回		39,906	
	*** S 単 - 24号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通 A 現地踏査		式		1,000	歩 A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km L (100km以上)			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	12,780円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	1.00日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	0.000日				
	14) 技師 A 外業日数	2.000日				
	15) 技師 B 外業日数	0.000日				
	16) 技師 C 外業日数	2.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師 (C) 日当					
	消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師 (C) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (3 級相当)	1,000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	8,354	8,354	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				58,725	算出数量 1.000 式
	単 価		式		58,725	
	*** S単 - 25号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通 B 生物調査 夏季鳥類		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金(税別)	12,780円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師A外業日数	2.750日				
	15)技師B外業日数	0.000日				
	16)技師C外業日数	2.750日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師(C)日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師(C)宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				75,433	算出数量 1.000 式
	単 価		式		75,433	
	*** S単 - 26号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通 C 生物調査 夏季 両生類・爬虫		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金(税別)	12,780円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師A外業日数	4.500日				
	15)技師B外業日数	4.500日				
	16)技師C外業日数	0.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54204	設計用技師（Ｂ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師（Ａ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（６級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（Ｂ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（４級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				108,849	算出数量 1.000 式
	単 価		式		108,849	
	*** S単 - 27号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通 D 景観調査 夏季		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金（税別）	12,780円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師A外業日数	2.500日				
	15)技師B外業日数	0.000日				
	16)技師C外業日数	2.500日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L（100km以上）				
P54203	設計用技師（Ａ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師（Ｃ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師（Ａ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（６級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師（Ｃ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（３級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				75,433	算出数量 1.000 式
	単 価		式		75,433	
	*** S単 - 28号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通 E 生物調査 秋季 植物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金（税別）	12,780円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	笠野地域環境配慮整備構想補足検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師 A 外業日数	6.200日				
	15)技師 B 外業日数	6.200日				
	16)技師 C 外業日数	0.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	6.000	人	8,354	50,124	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	6.000	人	8,354	50,124	
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				142,265	算出数量 1.000 式
	単 価		式		142,265	
	*** S 単 - 29号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通_F 秋季 哺乳類 (コウモリ)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km L (100km以上)			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	12,780円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	1.00日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	0.000日				
	14) 技師 A 外業日数	2.000日				
	15) 技師 B 外業日数	2.000日				
	16) 技師 C 外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上					
	宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	12,780	12,780	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				58,725	算出数量 1.000 式
	単 価		式		58,725	
	*** S 単 - 30号 ***					
S63017	外業に係る旅費交通_G 生物調査_冬季 鳥類		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km L (100km以上)			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	

九州農政局

九州農政局

令和 6 年度 地域整備方向検討調査
笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務

特別仕様書

第1章 総則

第1-1条（適用範囲）

令和6年度 地域整備方向検討調査笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務（以下「本業務」という。）の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条（目 的）

本業務は、笠野原地域における整備構想策定の一環として、笠野原地域における環境配慮計画（案）について補足調査を実施し取りまとめ等行うものである。

第1-3条（場 所）

本業務において対象とする場所は、鹿児島県鹿屋市及び肝属郡肝付町地内で別途業務位置図に示すとおりである。

第1-4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- 2 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- 3 調査予定範囲については、事前に監督職員と打合せを行い承諾を得るものとする。
- 4 作業実施のための土地立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立入りにあたっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- 5 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第1-5条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農村地域・資源計画 農業－農業土木 農業－農村環境 環境－環境保全計画 環境－自然環境保全 環境－環境影響評価

技術士	農業	農業農村工学、農村地域・資源計画、農業土木、農村環境
	環境	環境保全計画、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に該当する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	—

第 1－6 条（照査技術者）

- 1 照査技術者は、共通仕様書第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農村地域・資源計画 農業－農業土木 農業－農村環境 環境－環境保全計画 環境－自然環境保全 環境－環境影響評価
	農業	農業農村工学、農村地域・資源計画、農業土木、農村環境
	環境	環境保全計画、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に該当する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	—

- 2 共通仕様書第 1－7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 作業着手の段階
- (2) 夏季調査の完了段階
- (3) 秋季調査の完了段階
- (4) 環境配慮計画（案）作成段階
- (5) 報告書原稿作成段階
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

- 3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第 1－7 条（担当技術者）

- 1 担当技術者は、共通仕様書第 1－8 条によるものとする。
- 2 生物調査の実施にあたっては、調査項目に対応する生物分類技能検定 2 級以上の資格を有する者を配置し、調査着手前に監督職員に調査実施者名簿を提出するものとする。

第 1－8 条（配置技術者の確認）

共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第 1－9 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

第 2－1 条（基本条件）

1 基本条件

本業務の対象となる笠野原地域の基本条件は、次のとおりである

想定する事業種	国営かんがい排水事業（洪水調節機能強化事業）
受 益 面 積	整理中 R6.4 時点（2,335ha R5.4 時点）
整備構想（案）	・高限ダム附帯施設（改修）※1 1 か所 ・揚水・加圧機場（改修）※2 2 か所 ・地区外導水路（改修）L=8.6 km ・幹線水路（改修）L=24.6 km ・調整池（改修）4 か所 ・水管理施設（改修）1 式 ※1 ダム附帯施設 補修：洪水吐、更新：取水塔、管理棟建屋、堆砂対策 ※2 更新：ポンプの統廃合
調査対象施設等	＜対象名＞ （1）高限ダム上流部 （2）高限ダム取水塔 （3）高限ダム （4）地区外導水路 水路橋 （5）地区外導水路 隧道 （6）地区外導水路 工事用道路 （7）C 幹線水路 （8）F 幹線水路 （9）三角揚水機場 （10）三角加圧機場 （11）1 号調整池 （12）2 号調整池

2 その他の条件

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案のうえ、安全管理を含めた作業計画を作成して、監督職員と十分打合せを行い、安全で手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立入る場合は、監督職員と打合せを行い、施設管理者と調整を行うものとする。
- (4) 地区外導水路隧道の現地調査時の断水期間は、1 回当たり 3 日以内を想定しており、監督職員が施設管理者と調整し、別途指示する。
- (5) 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第 2－2 条（参考にする図書）

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第 2－1 条によるほか次表によるものとする。

他の図書を参考にする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成 15 年 8 月
2	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計手引き	農林水産省 HP に掲載	平成 14 年 2 月
3	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計手引き（第 2 編）	農林水産省 HP に掲載	平成 15 年 3 月
4	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計手引き（第 3 編）	農林水産省 HP に掲載	平成 16 年 5 月
5	農業農村整備事業における景観配慮の手引き	農林水産省 HP に掲載	平成 18 年 5 月
6	農村における景観配慮の技術マニュアル	農林水産省 HP に掲載	平成 22 年 3 月
7	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針	農林水産省 HP に掲載	平成 27 年 5 月
8	農業農村整備事業における景観配慮の技術指針	農林水産省 HP に掲載	平成 30 年 5 月
9	その他関係法規及び基準等		

第 2－3 条（貸与資料等）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数 量
1	笠野原地区事業誌及び事業成績書	1 部
2	国営施設機能保全事業笠野原地区環境配慮計画	1 部
3	令和 3 年度地域整備方向検討調査笠野原地域環境配慮計画検討業務	1 部
4	令和 3 年度地域整備方向検討調査高限ダム堆砂対策整備構想検討業務 報告書	1 部
5	令和 4 年度地域整備方向検討調査笠野原地域環境配慮計画等策定業務	
6	令和 4 年度地域整備方向検討調査高限ダム堆砂対策整備構想補足設計 業務 報告書	1 部
7	令和 4 年度地域整備方向検討調査笠野原地域地区外導水路整備構想 検討業務 報告書	1 部
8	令和 5 年度国営造成水利施設ストックマネジメント事業 笠野原地区高限ダム付帯設備耐震性能照査検討業務 報告書	1 部
9	令和 5 年度地域整備方向検討調査笠野原地域高限ダム堆砂対策補足設 計業務 報告書	1 部
10	令和 5 年度地域整備方向検討調査笠野原地域幹線水路他整備構想検討 業務 報告書	1 部

また、上記以外に必要な資料がある場合は、監督職員と協議するものとする。

第 2－4 条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第 2－2 条、第 2－3 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、設計作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第 2－5 条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業 務 名	業務実施期間
1	令和 6 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 笠野原地区 地区外導水路機能診断調査業務	R6.4～R7.1 (予定)
2	令和 6 年度地域整備方向検討調査笠野原地域とりまとめ他検討業務	R6.4～R7.3 (予定)

第3章 設計作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次表のとおりである。

なお、詳細は別紙1「作業項目一覧表」に示すものとする。

作業項目	数量	備考
設計業務		
1. 資料の検討	1式	
2. 現地踏査	1式	
3. 既存文献調査	1式	
4. 生物調査	1式	
5. 景観調査	1式	
6. 環境配慮検討部会等資料の作成及び とりまとめ	1式	
7. 保全対象生物の設定及び 環境配慮対策検討の補足	1式	
8. 環境配慮計画（案）の補足	1式	
9. 環境調査情報登録データのとりまとめ	1式	
10. 照査	1式	
11. 点検とりまとめ	1式	

第3-2条（作業の留意点）

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- 1 第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 2 当該業務を実施するに当たり、生物調査及び環境配慮対策の検討時において、助言を受けるべき環境配慮検討部会学識者は、初回打合せにおいて監督職員が提示する。なお、助言を受けるべき学識者は4名程度を想定している。
- 3 作業項目3、4、6で助言・指導を得るための環境配慮検討部会学識者（4名程度）の謝金及び旅費は受注者から支払うものとする。なお、謝金の支払い基準については、発注者が受注者へ指示を行う。
- 4 環境配慮検討部会の開催時期及び主題は、第1回令和6年8月（令和6年度環境調査方針）、第2回令和7年1月（環境配慮計画（案））を予定している。
- 5 その他の不明な点については、別途監督職員と協議のうえ方針を定めるものとする。

第4章 打合せ

第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

- 第2回 中間打合せ（夏季調査の完了段階）
- 第3回 中間打合せ（秋季調査の完了段階）
- 第4回 中間打合せ（環境配慮計画（案）作成段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1－17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD－R 若しくはDVD－R）正副2部
- 2 成果物の出力1部（緑色（JIS Z8102：2001に規定する色No.216）表紙、黒文字製本）

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については別途監督職員の指示によるものとする。

第5－2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町4778－1
九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- 2 第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 3 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 4 履行期間の変更が生じた場合。
- 5 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- 6 その他

第7章 定めなき事項

第7－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 作業項目一覧表（設計）

（内業）

作業項目	作業内容	備考
1. 資料の検討	貸与資料を整理し、内容を把握するとともに、業務計画を作成する。	
2. 現地踏査	別紙2に示す現地踏査を踏まえ、調査地点の概要等を取りまとめる。	
3. 既存文献調査	笠野原地域の環境配慮に係る既存文献資料を基に、地域環境及び生物に関する情報等を整理する。また、環境配慮検討部会学識者からの助言・指導を得つつ、生物調査計画書(案)を作成する。	
4. 生物調査	別紙2に示す生物調査の結果について、生息・生育が確認された生物の写真、個体数、調査日時を調査票（任意様式）及び図面に取りまとめる。	
5. 景観調査	別紙2に示す景観調査の結果について、写真、調査日時を調査票（任意様式）及び図面に取りまとめる。	
6. 環境配慮検討部会等資料の作成及びとりまとめ	第2－3条に示す過年度業務にて作成した環境配慮計画（素案）（高限ダム関連）及び各種調査結果を基に、環境配慮検討部会（年度内2回：第1回令和6年8月及び第2回令和7年1月を予定）の資料作成・とりまとめを行う。なお、とりまとめにあたっては、環境配慮検討部会学識者からの助言・指導を踏まえるものとする。	
7. 保全対象生物の設定及び環境配慮対策検討の補足	第2－3条に示す過年度業務にて作成した環境配慮計画（素案）（高限ダム関連）及び生物調査結果を基に、注目すべき生物及び保全対象生物を選定するとともに、想定される環境への影響を整理し、環境配慮対策検討の補足を行う。	
8. 環境配慮計画(案)の補足	第2－3条に示す過年度業務にて作成した環境配慮計画（素案）（高限ダム関連）及び上記作業項目1～7の成果を踏まえ、笠野原地域における環境や景観との調和に配慮する対策について整理し、環境情報図、環境調査図、環境配慮計画図を作成するとともに、環境配慮計画書(案)の補足を行う。	
9. 環境調査情報登録データのとりまとめ	環境調査結果について、発注者が示す様式（別紙3参照）にとりまとめる。	
10. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
11. 点検とりまとめ	各作業項目の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	

（外業）

作業項目	作業内容	備考
2. 現地踏査	別紙2 現地踏査にかかる外業	
4. 生物調査	別紙2 生物調査にかかる外業 なお、生物種毎の調査時期及び調査範囲は想定であり、具体的な調査時期等については発注者と協議の上決定する。	
5. 景観調査	別紙2 景観調査にかかる外業	

別紙2 外業詳細

<作業項目2. 現地踏査>

各調査地点について現地踏査を行い、生物調査等における調査地点、調査手法の概定を行う。

調査対象	調査 数量	生物調査					景観 調査
		鳥類	植物	両生類 爬虫類 昆虫類	哺乳類		
					コウモ リ除く	コウモ リ	
(1) 高隈ダム上流部	1箇所	●	●	●	-	-	-
(2) 高隈ダム取水塔	1箇所	-	●	-	-	-	(※)
(3) 高隈ダム	1箇所	-	-	-	-	-	●
(4) 地区外導水路 水路橋	1箇所	-	-	-	-	-	●
(5) 地区外導水路 隧道	1箇所	-	-	-	-	●	-
(6) 地区外導水路 工事用道路	1箇所	●	●	●	●	-	-
(7) C幹線水路	1箇所	-	●	-	-	-	-
(8) F幹線水路	1箇所	-	●	-	-	-	-
(9) 三角揚水機場	1箇所	-	-	-	-	-	●
(10) 三角加圧機場	1箇所	-	-	-	-	-	●
(11) 1号調整池	1箇所	●	-	-	-	-	-
(12) 2号調整池	1箇所	-	-	-	-	-	●

※景観調査は(3)高隈ダムで実施

調査対象	生物調査及び景観調査の調査範囲	備考
(1) 高隈ダム上流部	80,000 m ²	堆砂除去土砂受入予定地
(2) 高隈ダム取水塔	植物：既存取水塔の左右100m、水際から道路法尻まで	鉄筋コンクリート4.5m×4.5m×19mH更新
(3) 高隈ダム	景観：管理棟、取水塔、洪水吐ゲート	
(4) 地区外導水路 水路橋	景観：1式	L=25m 更新
(5) 地区外導水路 隧道	L=4.3 km	1号～10号隧道 補修 標準馬蹄形内径2.2m～1.8m 計画流量3.95～2.56 m ³ /S ※10号隧道補修済区間除く
(6) 地区外導水路 工事用道路	L=1.5 km 鳥類：左右25m 植物：左右15m	新設
(7) C幹線水路	L=2.2 km 植物：左右15m	管水路(更新区間)φ350～1350 最大通水量1.78 m ³ /S 2号調整池(拡幅)含む 3号調整池(廃止予定)含む
(8) F幹線水路	L=2.4 km 植物：左右15m	管水路(更新区間)φ300～1,000 最大通水量0.77 m ³ /S 4号調整池(廃止予定)含む
(9) 三角揚水機場	景観：1式	鉄筋コンクリート建 更新
(10) 三角加圧機場	景観：1式	鉄筋コンクリート2階建 更新
(11) 1号調整池	鳥類：1式	容量20,600m ³ 116×76m×4m 改修
(12) 2号調整池	景観：1式	容量19,110m ³ 94×94m×4m 拡幅

<想定している調査手法>

(1) 鳥類調査	・ラインセンサス等による目視
(2) 両生類・爬虫類・ 昆虫類調査	・任意観察
(3) 哺乳類調査	<コウモリ除く>・フィールドサイン法等 <コウモリ>・踏査による目視
(4) 植物調査	・踏査による目視

注1：「調査手法」は、「河川水辺の国勢調査基本調査 マニュアル【ダム湖版】」（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課、平成28年12月）を参考に、想定している調査手法を記載した。

<生物調査・景観調査時期一覧>

調査対象	夏季	秋季	冬季	発注者 指示
(1) 高隈ダム上流部	● 鳥、両他	● 植	-	-
(2) 高隈ダム取水塔	○	● 植	-	-
(3) 高隈ダム	○	-	-	-
(4) 地区外導水路 水路橋	○	-	-	-
(5) 地区外導水路 隧道	-	-	-	● コウモリ
(6) 地区外導水路 工事用道路	● 鳥、両他、哺	● 植	-	-
(7) C 幹線水路	-	● 植	-	-
(8) F 幹線水路	-	● 植	-	-
(9) 三角揚水機場	○	-	-	-
(10) 三角加圧機場	○	-	-	-
(11) 1号調整池	-	-	● 鳥	-
(12) 2号調整池	○	-	-	-

●生物調査

鳥：鳥類、植：植物類、魚類等：魚類等水生生物、両他：両生類・爬虫類・昆虫類

哺：哺乳類コウモリ除く、コウモリ：哺乳類コウモリ

○景観調査

<作業項目 4. 生物調査>

次表に示す調査位置で生物調査を実施し、確認された生物種の記録・同定を行う。このうち重要な種については個体数と確認位置を記録する。

夏季調査

調査位置	対象	箇所数	備考
(1) 高隈ダム上流部	鳥類	1 箇所	
(6) 地区外導水路 工事用道路	鳥類	1 箇所	
(1) 高隈ダム上流部	両生類・爬虫類・昆虫類	1 箇所	
(6) 地区外導水路 工事用道路	両生類・爬虫類・昆虫類	1 箇所	
(6) 地区外導水路 工事用道路	哺乳類（コウモリ除く）	1 箇所	

秋季調査

調査位置	対象	箇所数	備考
(1) 高隈ダム上流部	植物	1 箇所	
(2) 高隈ダム取水塔	植物	1 箇所	
(6) 地区外導水路 工事用道路	植物	1 箇所	
(7) C 幹線水路	植物	1 箇所	2号調整池含む 3号調整池含む
(8) F 幹線水路	植物	1 箇所	4号調整池含む

冬季調査

調査位置	対象	箇所数	備考
(11) 1号調整池	鳥類	1 箇所	

発注者が指示する時期

調査位置	対象	箇所数	備考
(5) 地区外導水路 隧道	哺乳類 (コウモリ)	1 箇所	調査時期は関連業務における止水期間中に行うものとしており秋季を想定している。なお、現地調査時の断水期間は、1 回当たり 3 日以内を想定しており、監督職員が施設管理者と調整し、別途指示する。

<作業項目 5. 景観調査>

次表に示す調査対象について、遠景、中景、近景における視点場からの景観について写真撮影を行うとともに、特徴的な景観について記録する。なお、視点場が得られない場合は、視点場が得られない状況について記録を行う。

夏季調査

調査位置	対象	箇所数	備考
(3) 高隈ダム	景観調査	1 箇所	管理棟、取水塔、洪水吐ゲート
(4) 地区外導水路 水路橋	景観調査	1 箇所	
(9) 三角揚水機場	景観調査	1 箇所	
(10) 三角加圧機場	景観調査	1 箇所	
(12) 2号調整池	景観調査	1 箇所	

別紙3

登録シート1：調査概要

no.	項目名	必須項目	記入方法	記入欄	記入例
1	データソース名	●	事業名等	1	〇〇調査
2	データ作成日	●	西暦年/月/日 (yyyy/mm/dd)	1900/1/2	2023/3/24
4	データ作成者	●	事業実施主体等	3	〇〇農政局△△土地改良調査管理 事務所
5	事業実施年度	●	自由記述 単年度or複数年度	4	R1～R4(同一地区で調査継続の場合は複数年)
6	対象地域	●	農政局単位、広域農業地域、 都道府県など	5	〇〇農政局△△地区
7	データソース備考		データソースの特記事項や詳細を記述		(特記事項があれば記載)
8	調査地点数	●	自動集計	0	76
9	野外調査数	●	自動集計	0	322
10	登録生物データ数	●	自動集計	0	1280
11	種名の原典		種名の参照文献		日本産肥虫両生類標準和名リスト(日本肥虫両生類学会 2012.8.27) 日本産魚類検索全種の同定 第三版 (中坊徹次編 2013) 移入種(外来種)リスト(環境省編 2002)
12	データ登録者		登録者または調査受注者等		株式会社〇〇〇〇

番号	データソース名	事業実施年度	対象地域
	1	4	5

13

参考資料1:登録シート2 登録例

番号	データベース名	事業実施年度	対象地域
1	水域ネットワーク調査	H25	九州胆振局管内胆本地域熊本県

対応する調査概要データを登録

登録項目の詳細については参考資料2を参照

← 削除しないでください →

野外調査データ										生物データ					野外調査データ番号		
野外調査 データ番号	位置情報 (緯度)	位置情報 (経度)	調査 地点名	調査年月日 (西暦)	調査対象 生物種群コード	調査方法	現地情報に基く備考		種名(和名)	種名(学名)	量的データ	備考	琉球省RL カテゴリ	位置情報 (1) = C+D (2) = F (3) = G (4) = (1)+(2)+(3)	調査 年月日	調査 コード	合計
							地点区分など	現地情報に基く備考									
自動	必須	必須	必須	必須	必須		地点区分など	現地情報に基く備考	どちらかは必須				必須	(1) = C+D (2) = F (3) = G (4) = (1)+(2)+(3)	(2) = F (3) = G		
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路	深み工(予定)	コイ	Cyprinus carpio			0	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路	深み工	オイカワ	Zacco platypus			0	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路	深み工	アブラハヤ	Phoxinus phoxinus			0	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路		モツゴ	Pseudorasbora parva			0	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路		ホトケドジョウ	Leptobotia			5	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路		ナマズ	Misgurnus anguillicaudatus			0	175.7214	37839	8	38022.72140
1	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路		メダカ	Orizias latipes			6	175.7214	37839	8	38022.72140
2	36.29252	139.43488	30201001	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:用水路		ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus		野外調査において、生物が異つたらなかった場合は「無生物」とする。	0	175.7214	37916	8	38099.72140
3	36.29252	139.43488	30201001	2003/12/10	8	かこ屋	地点区分:用水路		無生物	Rhinogobius sp. OR			0	175.7214	37916	8	38099.72140
4	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	7	目撃、聞き声による	地点区分:用水路		アマガエル	Hyla japonica			0	175.7214	37839	7	38021.72140
4	36.29252	139.43488	30201001	2003/8/6	7	目撃、聞き声による	地点区分:用水路		トウキョウダルマガエル	Rana porosa			0	175.7214	37839	7	38021.72140
5	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		ゲンブナ	Cerastes auratus lingedoffii			0	175.8004	37839	8	38022.80040
5	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		モツゴ	Pseudorasbora parva			0	175.8004	37839	8	38022.80040
5	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus			0	175.8004	37839	8	38022.80040
5	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		トウヨシノボリ	Rhinogobius sp. OR			0	175.8004	37839	8	38022.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		コイ	Cyprinus carpio			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		タイリクバラナゴ	Rhodeus ocellatus ocellatus			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		オイカワ	Zacco platypus			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		モツゴ	Pseudorasbora parva			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		タモロコ	Gnathopogon elongatus elongatus			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus			0	175.8004	37916	8	38099.80040
6	36.26999	139.53041	30201002	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		トウヨシノボリ	Rhinogobius sp. OR			0	175.8004	37916	8	38099.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		コイ	Cyprinus carpio			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		ゲンゴロウナ	Cerastes cuvieri			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		タイリクハラナゴ	Rhodeus ocellatus ocellatus			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		オイカワ	Zacco platypus			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		モツゴ	Pseudorasbora parva			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus			0	175.8004	37965	8	38148.80040
7	36.26999	139.53041	30201002	2003/12/10	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:河川		トウヨシノボリ	Rhinogobius sp. OR			0	175.8004	37965	8	38148.80040
8	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	7	目撃	地点区分:河川		アマガエル	Hyla japonica			0	175.8004	37839	7	38021.80040
9	36.26999	139.53041	30201002	2003/8/6	6	目撃	地点区分:河川		カナヘビ	Takydromus tachydromoides			0	175.8004	37839	6	38020.80040
10	36.26117	139.56498	30201003	2003/8/5	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:ため池		ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus			0	175.8461	37838	8	38021.84615
10	36.26117	139.56498	30201003	2003/8/5	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:ため池		トウヨシノボリ	Rhinogobius sp. OR			0	175.8461	37838	8	38021.84615
11	36.26117	139.56498	30201003	2003/10/22	8	タモ綱、かこ屋	地点区分:ため池		オイカワ	Zacco platypus			0	175.8461	37916	8	38099.84615
11	← (シート1) 9 野外調査数	← (シート1) 10 登録生物データ数	34	← (シート1) 8 調査地点数	3	← (シート1) 8 調査地点数											

※マクロ形式などによる表示はしない。

野外調査データ番号は、

- (1)位置情報、
- (2)調査年月日、
- (3)調査対象生物種群コード

が同一のデータを1単位として、自動で番号がふられるように異置しました。

参考資料2:登録シート2 項目説明資料

項目名	必須項目	記入方法
番号	●	1:農政局資源課等による調査 2:事業(務)所による調査で「3」に該当しないもの 3:田んぼの生きもの調査
データソース名	●	登録シート1より転記されます(自動)
事業実施年度	●	登録シート1より転記されます(自動)
対象地域	●	登録シート1より転記されます(自動)

【修正】
【修正】
【修正】

野外調査データ

項目名	データ型	必須項目	記入方法	記入例1	記入例2	記入例3
野外調査データ番号	integer	●	自動で番号がふられるように見直しました。	1	3	8
位置情報(緯度)	float8	●	十進度数(dd.ddddd) 測地系:JGD2000	36.29252	36.29252	36.26999
位置情報(経度)	float8	●	十進度数(dd.ddddd) 測地系:JGD2000	139.43488	139.43488	139.53041
調査地点名	varchar(n)	●	報告書などの提出資料で使用する地点番号や地点名などの調査地点が区別できる名称。	30201001	30201001	館林095
調査年月日(西暦)	varchar(n)	●	西暦年/月/日 (yyyy/mm/dd)	2002/08/04	2003/12/10	2003/08/06
調査対象生物種群コード	integer	●	生物種群コード 1:維管束植物 2:その他の植物 3:菌類 4:哺乳類 5:鳥類 6:は虫類 7:両生類 8:魚類 9:昆虫類(節足動物) 10:甲殻類(節足動物) 11:その他の節足動物 12:貝類 13:その他の動物	8	8	7
調査方法	text		自由記述(現地調査の方法に関する情報を記述)	投網、巻網 魚キラー	かご罟	目撃
環境情報に関する備考	text		自由記述(地点区分などの調査地点の情報を記述)	地点区分:用水路 流速:早い	用水路	用水路
左記に関連する配慮施設	text		自由記述(地点区分に関連する配慮施設があれば記述)	水田魚道(予定)	深み工	這い上がりスロープ
配慮施設の整備状況	text		自由記述(配慮施設があれば整備状況を記述)	整備前	整備中	整備後

【修正】

【修正】
【新規】
【新規】

生物データ

項目名	データ型	必須項目	記入方法	記入例1	記入例2	記入例3
種名(和名)	varchar(n)	●	生物種和名(全角) 調査で生物が見つからなかった場合には「無生物」と記載	ホトケドジョウ	無生物	アマガエル
種名(学名)	varchar(n)		生物種学名(半角)	Lefua echigonia		Hyla japonica
量的データ	float8		個体数などのポリュームデータ(数値)	5		
備考	text		自由記述(量的データの単位、幼魚の有無など)	量的データの単位: 個体数、幼魚なし		
環境省RLカテゴリ	varchar(n)	●	環境省RLカテゴリ(第二次環境省RL区分) 1:絶滅危惧IA類(CR) 2:絶滅危惧IB類(EN) 3:絶滅危惧I類(CR+EN) 4:絶滅危惧II類(VU) 5:準絶滅危惧(NT) 6:情報不足(DD) 7:地域個体群(LP) 0:指定なし	5	0	0

